

# 長岡市新一般廃棄物最終処分場整備事業

3か年緊急対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

**概要** 要：長岡市内にある一般廃棄物最終処分場の残容量がわずかになったため、新たな最終処分場を地盤改良等を行った耐震施設として整備することで災害時を含む廃棄物処理体制を拡充した。令和6年能登半島地震で長岡市は震度6弱を観測したものの、新たな最終処分場は耐震を考慮した施設のため被害は生じなかった。

**対策名**：122 大規模災害に備えた廃棄物処理体制整備緊急支援及び一般廃棄物処理施設の整備及び更新に関する緊急対策＜3か年緊急対策＞【環境省】

■ 実施主体：新潟県長岡市

■ 実施場所：新潟県長岡市

■ 事業概要：

長岡市内にある一般廃棄物最終処分場の残容量がわずかになったため、新たな最終処分場を地盤改良等を行った耐震施設として整備することで災害時を含む廃棄物処理体制を拡充した。

■ 事業費：36.7億円

(うち3か年緊急対策900万円)

	交付対象事業費	交付金額	実施期間
3か年緊急対策	約900万円	約300万円	R2

■ 災害の外力、被害と効果：

令和6年能登半島地震で長岡市は震度6弱を観測し、市内において全壊4棟、半壊10棟の建物被害が発生した。

しかしながら、地盤改良を行う等耐震を考慮した施設としたため、当該施設において被害は生じなかった。



長岡市新一般廃棄物最終処分場